

# 大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS)

## —— 第1回デザインハウスワークショップ ——

- 主催 大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS)
- 開催日時 2006年4月28日(金) 13時から17時
- 会場 大阪大学コンベンションセンター会議室3 (2階)
- テーマ 「持続可能社会へ向けたエコデザイン」

### 1. 趣旨

サステナビリティ・サイエンス研究機構の第1回デザインハウスワークショップは、「エコデザイン」をテーマとして取り上げる。ここでの「エコデザイン」は、工業製品の環境配慮設計という意味のみならず、社会、制度、エネルギーシステム、製品循環の仕組み、ライフスタイルなどを、持続可能性実現に向けてデザインするという広い意味で捉えており、まさにサステナビリティ・サイエンスの中核技術の一つである。

第1回デザインハウスワークショップは、持続可能社会へ向けたエコデザインの進むべき方向性について議論することを目的とする。サステナビリティ・サイエンス研究機構のコンセプトを紹介した後、「持続可能社会」のイメージ、持続可能社会をエコデザインするためのアプローチについて藤本淳氏にご講演頂く。その後、産業界の立場から現実を見据えたエコデザインの実践について二件講演していただく。まず、小島賢次氏に循環型製品の成功事例としての再生複写機の事業、製品設計、ライフサイクルマネジメント、再生工程、およびその効果についてご紹介頂く。次に、安田一成氏より、コンシューマープロダクツのリーディングカンパニーとしての松下電器の環境対応、エコデザインの事例、リサイクルビジネスの将来像などについてお話し頂く。最後に講演者によるパネルディスカッションを行い、エコデザインの研究と実践の今後の在り方について議論する。

### 2. プログラム

- 13:00~13:30 「サステナビリティ・サイエンス研究機構の目指すもの」  
盛岡通教授 (大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構)
- 13:30~14:30 「持続可能社会へ向けたエコデザイン」  
藤本淳氏 (東京大学 先端科学技術研究センター, 特任教授)
- 14:30~14:45 休憩
- 14:45~15:25 「使用済み複写機の再生事業について」 小島賢次氏 (リコー)
- 15:25~16:05 「地球環境との共存を目指した松下電器の活動—家電リサイクルを通じて得られたもの—」 安田一成氏 (松下電器/中部エコテクノロジー)
- 16:05~17:00 パネルディスカッション  
司会: サステナビリティ・サイエンス研究機構 梅田靖教授  
パネリスト (予定): 盛岡通教授、藤本淳氏、小島賢次氏、安田一成氏

### 3. 申し込み方法

下記 e-mail アドレスに氏名、所属、連絡先を明記の上ご連絡ください。

[yamaguchi@riss.osaka-u.ac.jp](mailto:yamaguchi@riss.osaka-u.ac.jp)

山口容平: 大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構, 特任助手